

位置参照点の活用

位置情報データの観測・管理・納品

空間データにおける基準点（位置参照点）の構築・管理・電子納品について取り組んでいます。

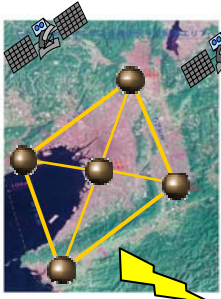
「安い・早い・正確」な位置参照データの取得



(FKP方式による観測風景)

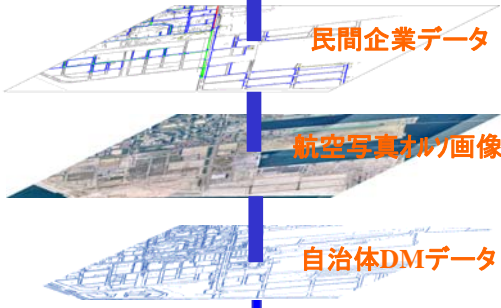
国土空間データ整備標準における位置参照点情報の取得方法として、補正基準点データ収集をインターネット化したネットワークリアルタイムGPS測量（FKP方式）を使い、最新データの維持管理のためのランニングコストの抑制及び利用者の便宜性を向上します。

（三菱電機 2003年9月より近畿圏で試験サービス開始）



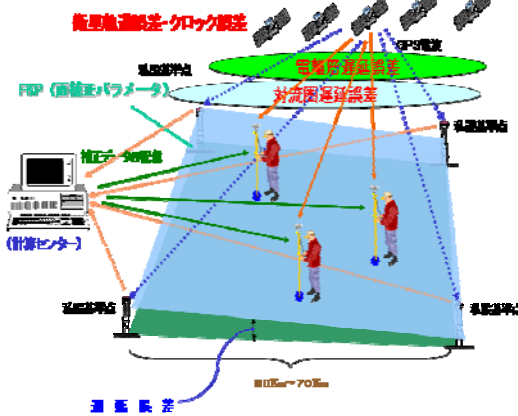
補正データ

FKP方式で取得した位置参照データによる重ね合わせ（串刺し）



空間データ共有の実現

RTK-FKP方式による測位の原理



位置参照点情報の管理

大阪府ではGISデータの促進、精度向上、共有化による測量コストの削減を目的として、「平成13年度 国土交通省GISモデル地区実証実験成果 大阪府位置参照点閲覧システム」の開発及びデータの収集を行い、システムは利用者に負担のかからない様にフリーソフト化し、位置参照点情報の追加、削除が行えるようにしました。

大阪府位置参照点閲覧システム Ver1.0

大阪府域市町村の基準点情報を格納し、システム上で成果表・点の記の閲覧が可能。



マウス操作により、点種、点名、成果値の属性を表示

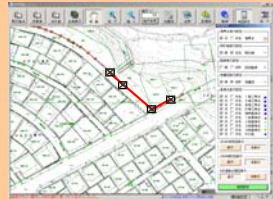


優れた操作性により、資料の保管場所、検索方法などの知識を保有する人とそうでない人の差がなくなり、業務の軽減が可能。

点(官民境界) + 線(明示線)

「平成13年度 国土交通省GISモデル地区実証実験大阪府位置参照点閲覧システム」において、位置参照点の重要性が再確認されました。14年度においては、官と民の境界を確定した境界明示について、確定を行った境界杭の位置、境界杭と境界杭を結線した明示線をGIS上において点と線で表し、自治体が保有する境界明示に関する資料「**明示確定図**」の画像データを標準的に閲覧できる「**道路境界明示閲覧モデルシステム**」の開発を行いました。

大阪府位置参照点閲覧システム Ver2.0



明示資料の表示

市町村道、府道に関する境界明示データを標準化し、共有化していくことで、市町村・府の相互利用が行え、法務局にある地積測量図や開発業者等により移管された竣工図などの官民明示根拠を示す業務資料との連携を図ることで、業務の軽減、市民サービスの向上が可能。

■お問い合わせ先

Geographic Information System 地理情報システム
GPS Integrated Survey GPSによる統合型測量



株式会社GIS関西

556-0017 大阪市浪速区湊町1丁目2-3 7/11難波ビル8F

Tel : 06-6630-1988 Fax : 06-6630-1989

www.gis-kansai.jp